

《どうでもいい話、その 544》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

子供の頃に中耳炎を数回煩い、それ以来少し難聴ぎみで、小学校の時は母親が先生に頼んで教室では前の席に座らせてもらいました。その後、日常生活に特に支障はなかったのですが、歳なのでしょう、退職してからは難聴が進み、まして昨今、みんなマスクをしているので会議などは人の話しを聞き取れず支障をきたします。そこで耳鼻科に行き検診してもらったところ、加齢で対策は補聴器しかないと言われました。仕方なく補聴器の店を探していたら、メガネのアイガンに補聴器PRの大きな垂れ幕があったので、店に入り耳の検査をして、オーダー品の見積りをしてもらうと、両耳でなんと28万円です。何日か悩みましたがこのままという訳にもいかず、みみっちく少し金額を引いてもらい、現金 耳をそろえ契約しました。製作に2週間かかり装着すると、耳を疑うほどよく聞こえます。ただ、形も従来の補聴器と違い、小さく目立たなくなっていますが、やはり使用するのはジジくさく抵抗感がありました。それが先日、ボランティアを行っている小学校で初めて使用して廊下を歩いていたら、5年生の女の子が「あら岩波さん、ピアスをしているのですか？」それ以来、抵抗感がなくなりました。現在、補聴器のお世話になりましたが、まだ歩行器のお世話にはなりません。

岩波より